令和２年度　自己評価・学校関係者評価について（報告）

令和３年３月２４日
幼保連携型認定こども園草牟田幼稚園
学校関係者評価委員会

1. 本園の教育・保育目標
宗教的な情操教育の中で，心身ともにたくましく，感性豊かな幼児を育成する。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画
ア　心豊かな子どもを育てる教育・保育　　イ　子どもがまんなかの組織・環境つくり
ウ　保護者や地域の皆さんと共にある園つくり　　エ　子育て支援

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
教育	幼稚園教育で育みたい３つの資質能力の育成を踏まえて、一人一人を伸ばす教育・保育に努めることができましたか。	A	県大会問題提起の発表や職員研修をとおして３つの資質能力の育成に理解を深め、子どもの姿を肯定的にみる見方を身に付け、日々の教育・保育に生かすことができた。
特別支援	一人一人の特性の理解を深めつつ、特別支援教育の充実に努めることができましたか。	B	全職員が講師（大学教授等）による園内研修を受講し、発達障害等の理解や特性の知識を深め、個々の特性の理解を深めて保育に生かした。
安全・衛生	安全管理(保育中・午後保育中のケガ等)や衛生管理（新型コロナウイルス感染症への対応）の徹底による安全・安心な環境が維持できましたか。	B	保育中における事故防止に努め４月から12月までに治癒期間が一ヵ月を超す事例はなかったが、５名がケガ等で通院した。コロナ禍への対応では、保護者の協力のもとに感染防止策を実施して行事運営に努めた。

評価（A…十分に成果があった　B…成果があった　C…少し成果があった　D…成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

評価	理　由
B	「幼稚園教育で育みたい資質能力の育成」では職員の自己評価等から十分な成果を認めたい。特別支援教育や安全・衛生にかかる取組では、子どもへの関わり方や日々の取組にもう一歩の充実を期待したい。

評価（A…十分に成果があった　B…成果があった　C…少し成果があった　D…成果がなかった）

5. 今後取り組む課題

	課　題	具体的な取り組み方法
1	特別支援教育の充実	・発達障害にかかる全教員を対象とした研修の継続
2	安全・衛生管理の充実	・保育中・午後保育中の事故防止の指導徹底や新型コロナウイルス感染防止、除菌、掃除等への取組

6. 学校関係者評価委員からの主な意見
・諸先生方には、子ども一人一人に寄り添った丁寧な保育をしていただいて感謝の思いであります。
・ソーシャルスキルトレーニングなど、今後教育現場に携わる人には素晴らしい研修だと思います。
・子供の特性の理解をしようという姿勢、努力は年々深まり、とても感謝しておりますが、もう少し声かけの言葉の選択など、配慮いただけたらありがたいと思うことがありました。
・「本園の教育・保育目標」が保護者の方にとってみれば実感しにくい部分があるのかもしれません。具体的なところで伝えることが出来ればと思います。
・降誕会、花まつり、昔遊びなどでの交流をこれからも続けてもらいたい。
・幼保小連携研修会で幼稚園の先生方と課題を共有できたことは大変貴重でした。
・今年度はコロナの混乱で保護者が出入りする機会も減り、知ることが難しいことが、園・保護者間の理解に影響がないといいのですが・・・。園側もますます、このような対策をしている、取組をしている！というのをアピールしていいと思います。もっと多くの人に知ってほしいと思いました。